

# 例題と演習で学ぶ 電気回路(第2版) 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2023年12月21日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	60	図 5.7		
1,2,3	62	14 行目	同様に、正弦波交流の <b>瞬時電流</b> を	同様に、正弦波交流 <b>電流を指数関数表現したもの</b> を
1	62	図 5.10		
1,2,3	63	1~2 行目	まず、 <b>瞬時</b> 電圧や <b>瞬時</b> 電流を与える式…	まず、 <b>複素</b> 電圧や <b>複素</b> 電流を与える式…
1,2,3	63	6 行目	…、 <b>瞬時</b> 電圧や <b>瞬時</b> 電流は、…	…、電圧や電流は、…
1,2,3	63	7~8 行目	ちなみに、 <b>瞬時</b> 電圧や <b>瞬時</b> 電流の初期位相は、…	ちなみに、電圧や電流の初期位相は、…
1,2,3	65	式(5.51)	$\frac{dV}{dt} = \dots$	$\frac{dV}{dt} = \dots$ ( <b>V</b> は太字)
1	91	2 行目	である。	である。 <b>アドミタンス</b> は、 <b>電流の流れやすさの尺度</b> を与える。
1,2,3	105	式(9.1)	$\dots = RI + j\omega LI + \frac{1}{j\omega C} I = \dots$	$\dots = RI + j\omega LI + \frac{1}{j\omega C} I = \dots$ ( <b>I</b> は太字)
1,2,3	108	囲みの下 2 行目	…、 <b>リアクタンス L</b> に加え、…	…、 <b>インダクタンス L</b> に加え、…

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1,2,3	114	式(9.41)	$I = I_R + I_L + I_C = I_R = \frac{V}{R}$	$I = I_R + I_L + I_C = I_R = \frac{\mathbf{V}}{R}$ (Vは太字)
1	126	10行目	…できたら, $I_1, \dots$	…できたら, 枝電流 $I_1, \dots$
1	135	例題 10.5 2~3行目	…未知である. 他の素子の…ようにした. $R_3$ と…	…未知である. これ以外の素子は既知である. このとき, ブリッジ回路は, 検流計 G に電流の流れない平衡条件が満たされている. $R_3$ と…
1,2,3	177	図 13.15		
1,2,3,4,5,6	220	9行目	また, 線電流は, 式 (3.19) を用いて, …	また, 線電流は, 式 (13.19) を用いて, …
1,2,3	224	3行目	る半直線である.	る線分である.